

MCC雑感2007-11

日時 : 2007-11-15 12:30~15:30
場所 : 丸紅一階 コンチェルト
出席 : 12名

1) 今月のテーマ「キーボード」

パソコンは今や通信機械であり、画像処理装置であり、テレビと合体してムービーの保存・映写機能も持っています。

更にはアーカイブの能力は巨大なハードディスク、多彩なリムーバブルディスクにより、あらゆるデータをデジタル化して保存し移動し再生することが出来てしまうので、これ以上に無く便利な実用的な道具となりました。

しかしながら、考えてみるまでもなく、パソコンの原点はコンピューターという言葉からして、計算機だったのであり、更にはワープロ（文書作成・印刷機）だったのでないでしょうか？

そして、今や世間ではこの機能を少し蔑ろにしているように思えてなりません。

今月のテーマは原点に復帰して、ワープロ機能のツールである
「キーボード」としたいと思います。



貴方はキーボードについてどの程度理解していると思えますか？

パソコンユーザーは「マウス派」と「キーボード派」に二分されていますが、MCCメンバーの殆んどはウィンドウズ95以降にパソコンに触れるようになった者ばかりですから、恐らくは大多数の方々は「マウス派」に属し、GUI (Graphic User Interface) 世代であると思います。

しかしながら、パソコンの達人によくある「キーボード派」に云わせると、マウスで出来る事はすべてキーボード操作で出来るということであり、且つキーボードの方が遥かに速く簡便であるはずと豪語する人がかなり世の中には存在するという事のようなのです。

勿論好みの問題ではありますが、キーボードのみで殆んどの操作が出来るとなれば、その習熟には一考の余地があるのではないのでしょうか。

例えばコントロールパネルを開く操作を例にとると、一般的なやり方は、

- 1) スタートボタンをクリックする。
- 2) コントロールパネル (C) をクリックする。

ですが、キーボードだけで操作しようとするなら、

- 1) Windows キーを押す (或るいは CTRL+ESC で代用)。
- 2) C キーを押す。

という方法があります。

キーボードとマウスの操作を、それぞれ2秒以内を目標に実行してみてください。どちらが簡単でしょうか? 数回やってみれば、キーボードの方が速く操作できることがわかると思います。

ウィンドウズロゴキーとアプリケーションキー



▼ 「Windows ロゴ」キーのみ押すと・・・「スタートメニュー」の表示

マウスでスタートボタンを左クリックと同じ効果です。

もう1回押すと消えます。

全画面表示のアプリケーションを使っているときにスタートボタンも隠れてしまった時などには極めて便利です、何よりもマウスを使わないので手早く操作出来ます。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「D」・・・「デスクトップ」に戻る

画面上がウィンドウだらけでごちゃごちゃな時、デスクトップに置いてあるアイコンが遠く感じてしまいますよね。このショートカットで一発です。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「M」・・・「開いているウィンドウズの最小化」

全てのウィンドウをいっぺんに最小化します。

この一発効果は一瞬ですから、例えば作業中に背後に見られたくない人が迫ってきた非常時にも…。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「Shift」+「M」・・・「上の戻し」

上の非常時が過ぎ去ったらこれで元に戻しましょう。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「E」・・・「マイコンピュータを開く」

マイコンピュータを一発で開きます。これは同時にエクスプローラを開くのと同様なので、スタートボタンを右クリックして、エクスプローラを左クリックというような手続きが一瞬で出来てしまい、非常に便利です。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「L」・・・「ログアウト」

コンピュータをロックできます。ちょっと席を立つ時、ワンタッチでログアウト状態にできます。

▼ 「Windows ロゴ」キー+「Break」キー

[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示する。

こんなところで、役立たずと思っていた Break キーが機能を発揮するとは！

アプリケーションキー

「アプリケーション」キーは、マウスポインタ（矢印）が表示されている。使い方を知っていると非常に重宝なキーと云えるだろう。

ファイルをなんらかのアプリケーションから開く場合、右クリックしてショートカットメニューを表示する。

この役目を果たすのが「アプリケーション」キーなのです。

ファイルを選択した状態で「アプリケーション」キーを押したり、文字列を選択状態にして「アプリケーション」キーを押してみるとショートカットメニューが表示される。上下の矢印キーでメニュー項目を移動して「Enter」キーで選択することができる。操作を取り消すには「Esc」キーを押せばよい。

キーボードから入力作業を行っているときに、右手をマウスに持ち替えるのがめんどろだというときなどに役立つだろう。

2) ミシュラン

突然橋本さんが「ミシュラン日本版が出ます」と言い出した。

場内騒然として質問が飛び交ったが、副島さんというパリ在住歴の長さを誇る人が明快な解説をしてくれた。

いよいよ11月22日発売！入手方法は？

発売日：2007年11月22日（木）（東京標準）

価格：定価2,200+税（税込2,310円）

大ちゃんの解説では鮎屋は2軒だけとかいうのだが、東京に数千軒在ると思われるレストラン、業界はどのように反応するのだろうか、そして我々を含めた客は??



3) 小林さんのカメラ

取り出された愛機は何と Panasonic-Lumix 800万画素の新鋭機！

貴方のカメラの画素数は？

と聞かれてオタオタしてしまった人も居られたが、依然として好奇心を強く持ち続ける小林さんに拍手！

特にご愛用なのは、録音機能を駆使して画像に音声の説明をつけるということとか。

「ムービー機能は？」と聞かれると「それはこれからの研究課題です」と、ニッコリ。



4) 弘文さんの苦心作

南紀と熊野古道の旅を企画立案されて無事20余名の爺さんを引率された田中さんが、帰京後ほんの数日で完成発表されたフォトストーリーは大きな反響を呼んだことだった。

これまでの作品にも増して、映像の選択、トランジションの巧みさ、BGMの見事さと流石に目の肥えたMCCメンバーを唸らせたのだった。



田中さんが語った苦心談はACDCを使っての画像処理の際のトリミングの失敗談—FOTOCANVASについて、と背景に入れた楽曲の選択が映像にフィットしなかったこと等、この道の達人ならではの含蓄ある、謙遜されたコメントだった。

唯一惜しまれるのはMCC出席者の中には今回参加されたのは小島さんだけ、多くのご老人にも見せたいものだが、デジタル・ディヴァイドの壁・・・

5) 10月の多忙さ

矢野さんから「メールが少なくなりましたね、ご旅行でしたか？」と、云われて自身一寸驚いた。

神無月で出雲に行っていたというわけではない、10月はスポーツ、芸術、それに食欲も常にも増して居り、忙しかったのです。

ワールドシリーズ、日本シリーズ、アジアシリーズと野球の熱戦が目白押しで大忙しだったし、囲碁名人戦で張栩が名人位を7回の激闘の末奪還したという大イベント（過去二度しかない翌年の奪還）、更には神尾真由子の凱旋公演等を含む洪水のようなハイビジョン放送の録画・・・かなりのご馳走にも恵まれた月でした。

私のITライフもまたこれらのイベントに連れて膨れ上がっていたのです。もしも欠礼があったのならご寛恕のほど、この機会にお願い申し上げます。



—以上—